

そのAI利用、あとから検証できますか？ ～AIが関与する業務のトレーサビリティ設計に向けて～

人間系 助教 松田 壮一郎

概要

- ・生成AIの利用そのものを、すべて業務記録に残すことは現実的ではありません。
- ・問題が起きた後に「誰が、何を確認したいのか」から逆算して、事前に何を記録するかを整理します。
- ・機密情報の漏洩と誤情報の混入を例に、無理なく運用できるトレーサビリティを考えます。

これまで

人の行動を観察・記録・評価する

対象が人の行動でも業務でも、
まず「何を観察し、何を記録するか」
を決める。

機密情報の漏洩

何が、どこへ渡ったのか？

例：社内・顧客情報を含む内容が、外部
の生成AIサービスに入力されていた

誤情報の混入

どこで生成され、
どこで採用されたのか？

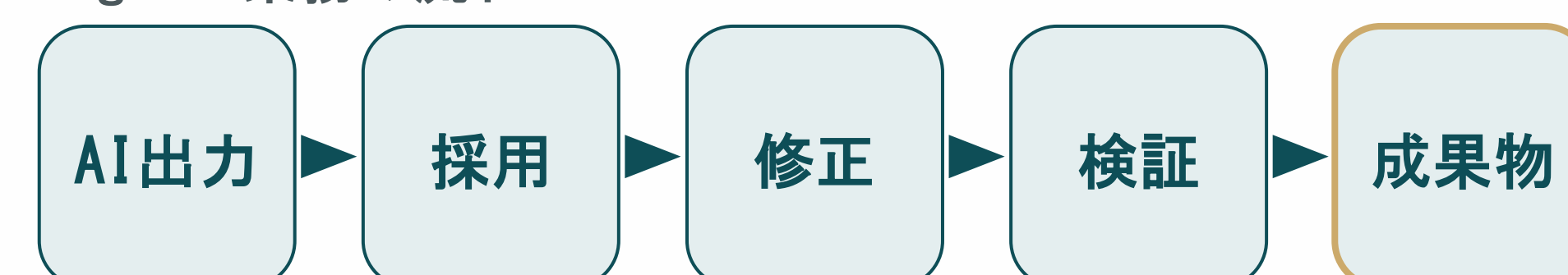
例：生成AIが出力した誤った数値・記述
が、顧客向け資料等に含まれていた

- A 視線 × 対人距離 An & Matsuda, 2026
B 経験サンプリング Kumasaki et al., 2026
C ロボット × 社会的遊び Matsuda et al., 2017

Fig. 1a 業務の流れ



Fig. 1b 業務の流れ



観察

- A 視線・対人距離を出来事として扱う
B 日常の活動・同伴者・幸福感等
C 子どもの社会的遊び

観察

アクセス・取得・入力・送信を
別の出来事として扱う

観察

生成・採用・修正・検証を
別の出来事として扱う

記録

- A 条件ごとの視線行動・対人距離
B 何を・いつ・どの文脈で記録するか事前に
設計し、日常の中で繰り返し記録
C 遊びの行動

記録

誰が・何を・いつ・どのサービスへ
入力・送信したかを記録する

記録

どの出力が採用され、
誰がどう修正・確認したかを記録する

見直し

- A 条件・フィードバックの配置を変更
B -
C 環境側の装置・フィードバックを変更

見直し

必要に応じて、
利用サービス・権限・入力経路を見直す

見直し

必要に応じて、
確認工程・承認手順を見直す

評価

- A 条件変更後の行動の違い
B 記録された出来事と文脈の関係
C 変更後の社会的遊びの変化

評価

必要な経路をあとから確認できるか、
業務負担はどうかを評価する

評価

混入経路をあとから確認できるか、
追加負担はどうかを評価する

対策を「実施した」で
終わらせない

研修した ≠ 問題が減った
ルールを作った ≠ 行動が変わった

確認手順や研修などを変更した場合は、その後に何が変わったかまで評価します。

一緒に整理できること

観察

現在の業務で
何が起きているか整理する

記録

あとから確認するために
何を記録するか決める

見直し

必要に応じて
確認手順・記録方法を変える

評価

変更後に
何が変わったか確かめる

※新しいシステムの開発を前提としません。既存の業務フローやツールを対象に検討します。

御社で問題が起きたとき、誰が、何を確認できる必要がありますか？
そのための記録は、いま取れていますか？

An, C., & Matsuda, S. (2026). Condition-specific changes in gaze allocation following gaze-triggered interpersonal-distance outcomes. *Attention, Perception, & Psychophysics*, 88, Article 185. <https://doi.org/10.3758/s13414-026-03322-8>
Kumasaki, N., Todo, N., & Matsuda, S. (2026). Daily happiness in contexts: Associations of activities, social companions, and humor use across two 2-month experience sampling studies. *Journal of Happiness Studies*, 27, Article 113. <https://doi.org/10.1007/s10902-026-01095-3>
Matsuda, S., Nunez, E., Hirokawa, M., Yamamoto, J., & Suzuki, K. (2017). Facilitating social play for children with PDDs: Effects of paired robotic devices. *Frontiers in Psychology*, 8, 1029. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2017.01029>

ポスターデータ
ダウンロード用

